

コーヒー箱詰め 手際よく



青い海と
森の
音楽祭

10/31-11/8

31日開幕の「青い海と森の音楽祭」(東奥日報社などをつくる実行委員会主催)で販売する公式グッズ「オリジナルドリップコーヒー」の箱詰めが5日、アウトリーチ(出前演奏会)が開かれる八戸市の八戸高等支援学校(村井知史校長)で行われた。普通科と産業科の2年生計17人が、真剣な表情で作業に当たった。

同校では11月1日にアウトリーチが開かれ、音楽家8人が演奏する。開催前の準備でも音楽祭を支えようと、生徒らが作業



コーヒーパックを手際よく箱詰めする生徒たち

に協力した。

生徒たちはシール張りや箱の組み立てなど四つの班に分かれ、1箱に五つのコーヒーパックを入れる作業を手際よくこなし、15分ほどで100箱を完成させた。

作業前には、昨年箱詰めに協力した弘前第一養護学校高等部の生徒による動画メッセージが流れ、「一緒に青森を盛り上げましょう」などとエールが送られた。

箱に封をするシール張りを担当した産業科の片子澤瑛さんは「スムーズにできて良かった」とし、アウトリーチについても「プロの演奏が聴けるのはうれしい」と楽しみにしていた。

コーヒーは音楽祭の有料公演に設置するグッズショップで販売。今月11日に開かれる青森公立大学(青森市)大学祭に出展する音楽祭実行委ブースでも先行販売する。

(秋村有香)